

# 平成31年度事業計画

特定非営利活動法人 長野サマライズ・センター

平成30年10月1日から平成31年9月30日まで

## 1. 事業の方向性

- ① 一番の活動目標を「初等中等教育で普通学校に通う難聴児の授業支援制度実現」とすることは変わらない。啓発行事や寄付募集事業などを通して、弊法人の行っている活動への認知・聴覚障害理解を求めていく。  
  
また、そのためには、1法人だけでは限界がある。引き続き全国の多様な活動に取り組む難聴当事者・難聴児保護者団体との連携はもちろん、医療関係組織、大学、学生、企業などと幅広い連携で、さらに支援制度実現に向けた環境作りを進める。
- ② 認定NPO法人になってから取り組んできた寄付環境整備が少しずつ実を結んで来ていることを受け、さらなる理解を求めめるための、幅広い情報収集を行い、法人にあった新たな工夫を盛り込んだ広報活動へも取り組む。
- ③ 法人の基盤を支える事業として、高等教育現場からのサービス提供依頼、会議録作成、データ入力作業など定着も見られる中、増加傾向にあることも実感できており、今後もますます信頼性を高めていきたい。
- ④ 遠隔授業支援などのため、より使いやすく活用の幅が広がる、新たな支援システムの研究・導入に取り組む。

## 2. 事業実施に関する事項

### ○ 特定非営利に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施 日時	実施場所	従事者 の人数	受益対象者の範囲及び 人数	支出額 (千円)
パソコン要約筆記通訳者の派遣を行う事業	要約筆記委託事業	H30.10.1~H31.9.30	事務所、 県施設、各市町村施設	20名	全国 3000名	800
パソコン要約筆記通訳の人材発掘と育成事業	養成講座実施・勉強会の運営	H30.10.1~H31.9.30	事務所、遠隔、大学 長野、塩尻、明石	4名	長野県民、兵庫県民 100名	100
IT技術の福祉分野への活用を推進する事業	情報収集と提供	H30.10.1~H31.9.30	事務所等、WEB	4名	全国活動者・支援団体、企業等 1000名	300
要約筆記・パソコン要約筆記についての相談と助言に関する事業	全国パソコン通訳者のネットワーク化	H30.10.1~H31.9.30	事務所等	4名	全国活動者・支援団体、企業等 200名	900
障害者・青少年の生きがい作りと人材育成事業	教育現場での授業サポート	H30.10.1~H31.9.30	筑波技術大学・信州大学 全国小中学校	20名	聴覚障害児童・ 学生 350名	1500
	テープ起こし データ入力	H30.10.1~H31.9.30	事務所等	12名	地域住民 市町村等 150名	3000
	助成事業	H30.10.1~H31.9.30	全国各地	20名	聴覚障害者・児 全国活動者等 200名	400
その他、目的達成のために必要な事業	PR活動	H30.10.1~H31.9.30	事務所等	6名	依頼側、参加者 聴覚障害者、市民 7000名	300
	助成事業等	H30.10.1~H31.9.30	事務所等	4名	依頼者、参加者、 聴覚障害者等 1000名	700
一般管理費	事務作業等 諸経費	H30.10.1~H31.9.30	事務所等	4名	30名	2000

10000